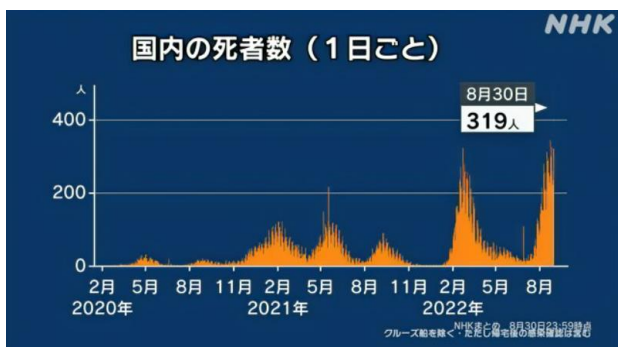
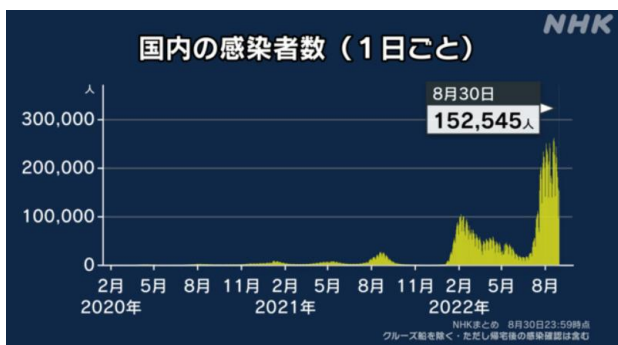


豊栄病院 ニュース

令和4年9月号

いままでの新型コロナ感染に比べ、格段に感染者数が多い“第7波“の最中となっています(下図上)。さらに新学期に入り、学童などの感染が広がり、更なる大きな波にならないことを願っています。今のオミクロンBA.5株は従来のウイルスよりも重症・死亡リスクは少ないといわれていますが、感染者数が多いため、1日当たりの死亡者数も過去最大の日も出ています(下図下)。病院では、職員家族(特に幼稚園・保育園児)の感染・濃厚接触がみられ、職員も感染や濃厚接触者となることもあります。働くことができる職員数が減少しているところに、通常診療の他、発熱者への対応・コロナ確定患者への対応・ワクチン接種などの業務があり、当院職員も疲弊しています。



また、この第7波が収まっても次にさらに大きな8波が来ないとも限りません。さらに今シーズンはインフルエンザの流行も見られそうです。病院としては、このワクチン接種も行わなければなりません。我々医療関係者

としては憂鬱になり過ぎず、できることを粛々と、確実にやっていかねばならないと思っています。

さて、こうしたコロナ禍の最中にも地域医療構想の話は少しずつ進み、“新潟地域医療構想調整会議”が8月25日に開催されました。今回、地域包括ケアシステムを支えるための医療施設の機能分化と連携の強化の方向性について、新潟県・新潟市における医師の働き方改革への対応について、持続可能な周産期医療体制の実現に向けた今後の方向性案などの資料なども示されたうえ、①新潟市の救急医療体制について ②病床機能等の変更予定について ③診療所(開業医)にかかる病床設置について、の議事が行われました。現時点では、新潟二次医療圏では、魚沼や県央のような統合・再編の動きはなく、このままソフトランディングしそうです。とはいえアフターコロナを見据え本院としては、将来の医療需要の減少に対応するため、シミュレーションや準備は行っています。この地域の医療を守るため、持続可能な病院運営を考える必要があります。



国は、行動制限を設けませんが、我々医療関係者はそうともいわず、黙食・孤食でおいしいものを食べたり、プチ観光したり……(写真は例年9月下旬に開催される村上市の屏風祭りの写真です;2019年宮島撮影)。

発行責任者;豊栄病院病院長 宮島 透

豊栄病院(代表)

TEL 025-386-2311

FAX 025-386-2370

豊栄病院 患者総合支援センター

TEL 025-386-2801(直通)、FAX 025-386-2784